

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

## 事業名 岐阜県家畜育成牧場管理運営業務評価員会議 運営事務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111 (内 2875)

E-mail: [c11437@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11437@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 249千円 (前年度予算額：249千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	249	0	0	0	0	0	0	0	249
要求額	249	0	0	0	0	0	0	0	249
決定額	249	0	0	0	0	0	0	0	249

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成18年度より岐阜県家畜育成牧場に指定管理者制度を導入し、同年6月に岐阜県家畜育成牧場管理運営業務評価員会議 (以下「評価員会議」という。)を設置した。

評価員会議については、「岐阜県指定管理者制度運用ガイドライン」第7の2指定管理者に対する監督・評価の(3)専門家等による評価に定められており、会議を構成する評価員は5名で、牧場の利用者である農協や家畜診療所などの職員、財政状況を判断できる税理士が委員となっている。

### (2) 事業内容

#### ① 評価員会議の開催

指定管理者による管理運営状況を評価するために、それぞれの施設を熟知した専門家等を評価員に任命し、意見を伺う機会を設ける。

この意見聴取のための会議は、管理の基準の充足状況、施設の設置目的の達成状況、公共性の確保の状況、経営状況、派生的効果等を評価項目として、各対象施設及び指定管理者において実施する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10 / 10 県ガイドラインに基づく会議開催のため

### (4) 類似事業の有無：無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費（費用弁償）	103	飛騨牧場開催 37,989 円
		公社（岐阜市）開催 32,467 円
		東濃牧場開催 32,214 円
旅費（業務）	20	飛騨牧場開催 9,497 円
		東濃牧場開催 10,072 円
報償費	126	@10,500 円×4 名×3 回 (5 人中 1 名は市職員のため報償費不要)
合計	249	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「岐阜県指定管理者制度運用ガイドライン」第7の2の(3)

県は、指定管理者による公の施設の適正な管理に資するよう、原則として施設ごとに、それぞれの施設を熟知した専門家等からの意見聴取の機会を設け、指定管理者による施設の管理運営に対する評価についての意見を伺います。

この意見聴取のための会合は、少なくとも年2回以上開き、管理の基準の充足状況、施設の設置目的の達成状況、公共性の確保の状況、経営状況、派生的効果等を評価項目として、専門家等の見地から意見を伺うこととします。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

**（事業目標）**

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 岐阜県指定管理者制度運用ガイドラインに基づき、毎年、県営家畜育成牧場の適正な管理が行われているかを監督・評価する。

**（目標の達成度を示す指標と実績）**

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(R )	%
	(H )	(H )	(H )	(H )	(R )	%

**○指標を設定することができない場合の理由**

評価を行うための事務費であり、指標をもって成果を評価することが困難であるため。

**（前年度の取組）**

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

**（前年度の成果）**

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	岐阜県指定管理者制度運用ガイドラインに基づく業務であり、必要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	監督・評価を行うことで、適正な県有施設の管理が図られる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 指定管理により牧場の管理委託を行う間は、継続して実施していく必要がある。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------